

令和3年度 第1回 田原本町行政改革推進委員会 会議要旨

日時：令和3年9月6日(月)

午前9時30分～10時30分

場所：田原本町役場3階 301・302 会議室

出席委員（敬称略）

小松原 尚 （公立大学法人奈良県立大学 地域創造学部教授）
山本 雅俊 （田原本町農家代表者会 会長）
山田 国嗣 （田原本町自治連合会 会長）
鍬田 芳嗣 （田原本町社会福祉協議会 会長）
飯田 浩憲 （株式会社南都銀行 田原本支店 次長）代理出席
谷野 守弘 （奈良中央信用金庫 専務理事）
榊井 宏之 （公募委員）
住井 康典 （田原本町副町長）

欠席委員（敬称略）

梶木 裕文 （田原本町議会総務文教委員会 委員長）
山田 至完 （田原本町商工会 会長）
山岡 佐規子 （田原本町地域婦人団体連絡協議会 会長）

事務局 教育長 町長公室長 総務部長 住民福祉部長 産業建設部長 上下水道部長
教育部長 町長公室・産業建設部参事 産業建設部参事 町長公室参事
企画財政課長 企画財政課長補佐 企画財政課政策企画係長

次第

1. 開会
2. 委員紹介
3. 委員長の選任
4. 議事
議案第1号 第5次田原本町行政改革の取り組み状況報告について
5. その他
次期田原本町行政改革大綱策定のスケジュール
6. 閉会

配布資料

- 資料 1 第 5 次田原本町行政改革大綱
- 資料 2 第 5 次田原本町行政改革大綱 参考資料
- 資料 3 第 5 次田原本町行政改革実施計画書
- 資料 4 令和 3 年度田原本町行政改革の取り組み状況について（令和 2 年度実績）
- 資料 5 田原本町行政改革の取り組み状況（総括）
- 資料 6 田原本町行政改革推進委員会委員名簿
- 資料 7 田原本町行政改革推進委員会規則
- 資料 8 今後のスケジュール

1. 開会

(事務局)

令和 3 年度第 1 回田原本町行政改革推進委員会を開会する。

(町長)

町長挨拶

2. 委員紹介

(事務局)

令和 3 年度の推進委員の方を紹介

出席委員 8 名で、田原本町行政改革推進委員会規則第 5 条第 2 項により、委員会は成立。

欠席委員は 3 名。

3. 委員長の選任

(事務局)

委員長は規則より委員の互選による選出と定められており、意見を伺う。事務局一任の声により、事務局案として前回委員長の小松原委員を推薦する。

—異議なしの声により承認—

(小松原委員長)

委員長挨拶

4. 議事

(小松原委員長)

議案第 1 号、「第 5 次田原本町行政改革の取り組み状況報告について」、事務局から説明を

求める。

(事務局)

資料3、4 実施計画について、令和2年度実績を追記し時点修正した。最終年度の令和3年度の目標において現時点の進捗状況を説明。各種指標の達成状況。

資料5 これまで実施してきた取組について、担当課評価及び今後の取組方針をまとめている。

(小松原委員長)

コロナ禍における図書館利用について、デジタル化の観点を踏まえた課題について対策や取組はあるか。

(教育部長)

図書館カウンター業務に関して委託を検討しているところであり、委託することでサービス低下につながらないように検討中である。

(委員長)

機械による(デジタル)利用。チャンスを広げるという観点で考えていただければと思う。

(山本委員)

資料5(4)、人件費の適正化について、進捗状況は計画通りとなっているが、毎日のように夜遅くまで残っている職員もいることから、業務の見直し、適正な業務配分をするべきではないか。

(町長公室長)

業務の見直しは必要であると考えており、民間委託や公民連携、ICTの活用は住民サービスの向上につながると思われる。また、会計年度任用職員の採用や、残業時間の上限を設けたり、水曜日・金曜日をノー残業デーとすることで積極的に正職員の時間外勤務を減らそうと努めている。正職員がすべき業務、会計年度任用職員や民間委託することのできる業務等、精査して取り組んでいく。

(谷野委員)

資料5(2)に関して、マイナンバーカードの申請率が43.21%とあるが、県内市町村と比べるとどれくらいの位置にいるのか。

(住民福祉部長)

県内 11 番目となっている。

(谷野委員)

また、キャッシュレス決済導入について、目標値 6.5%に対して実績値 5.2%となっているがどのように考えているか。

(事務局)

キャッシュレス決済については paypay を活用した QR コード決済を昨年 8 月より導入し、具体的には総合窓口で発生する証明書関係の手数料決済が主となっており、現在は全体の約 5%の使用率となっている。

(飯田委員代理)

資料 5 (3)、企業誘致の推進について、企業から立地や環境は良いがその後のスケジュールに時間がかかるとの話を聞く。また町内におけるテレワークについてコロナ禍という現状を転機に何か考えなどあれば教えていただきたい。

(産業建設部長)

企業から問い合わせがあった際、地元と連携を図り都度対応はしている。説明会等開催する機会も検討している。テレワークに関しても今後、周りの市町村の動向など研究しながら取組むつもりである。

(山田委員)

自治会で役場からの回覧等取りまとめているが、バラバラと資料が送られてくることがあり、役場の縦の関係はできていると思うが、横のつながり等もう一度見直していただきたい。

(総務部長)

回覧等は期限を決めて、広報の発行タイミングに合わせるよう、各課徹底しているつもりではあるが再度認識を改め取り組んでいく。

(小松原委員長)

資料に出てくる KPI について用語の解説をしていただきたい。

(事務局)

重要業績評価指標のことである。

(山本委員)

旧田原本中学校の体育館について、耐震問題等含め更地にするなり、違う施設に建て替えたり、何か予定等あるのか。

(総務部長)

第一体育館を含めた駅前周辺については東側の開発計画と共に話を進めたいと思っている。

(山本委員)

いつ頃から計画を進めていくのか。

(総務部長)

現在進めている西側の再開発が終わってから取り組んでいきたい。東側に関しては旧の街並みを活かしたまちづくりに努めていく。

(谷野委員)

この中和地区はこれから発展していくと思う。田原本町でも駅前の再開発や企業誘致、10年後の国体等、今後活性化していく地域になると思われる。その中で駅までの交通手段についても近隣の市町村とも連携しながら取り組んでもらいたい。

(町長公室参事)

町内の公共交通に関して課題と認識している。コミュニティバスの導入や、現在運行しているタワラモトタクシー事業についても現行の制度のままでいいのか、同時進行で検討している最中である。また、今後の公共交通について、移動が困難な方に対してどうするか、計画していくことを検討している。

(榊井委員)

資料5(1)、適正な職員定員の管理における実績値が263人となっているがこれには先ほどの会計年度任用職員が含まれているのか。また、先ほど残業の話も出ていたが、仕事の割り振りや人員配置がどのように検証されて行われているのか。

(町長公室長)

任期付職員も263人に含まれている。業務量を踏まえて毎年継続的な新規採用を行っており現在の職員数を維持していきたいと考えている。人員配置については、各課に人事ヒアリングをしており、具体的には課内の状況、職員の状況、業務の進捗状況について聞き取りを行っている。また、各職員に対して自己申告書の提出を希望者に促している。取り組みた

い部署、業務を聞き取り、人員配置の際に参考とし職員のパフォーマンス向上にも努めている。

(小松原委員長)

これまでの行政改革の取り組みについてご審議いただいた。

5. その他

(小松原委員長)

次第の5 その他、次期田原本町行政改革大綱策定のスケジュールについて事務局から説明を求める。

(事務局)

今年度で現行の大綱が終了する。引き続き行政改革を進めていくため、次期大綱の策定が必要と考えている。国からも地方への指針や国自身の基本方針が発出されており、それも踏まえて今後の取組について考えていく。

(小松原委員長)

他に質問、意見等ないので、本日の議事はすべて終了。

長時間に亘りご協力いただいたことの御礼。進行を事務局にお返す。

6. 閉会

委員の協力、小松原委員長の議事進行に対する御礼。本日審議の結果を踏まえ、効果検証結果として議事要旨と共に町ホームページにて公表を予定。これをもって、委員会終了。